

ささえ愛まちづくり

(生活支援体制整備事業)

社会福祉協議会

生活支援コーディネーター 菅谷唯喜子

65歳以上が人口の約半数を占めている三笠市だからこそできる地域を作っていきますか？思いやりにあふれた地域にするために皆さんで考えて、できることから始めていく新しい住民主体の地域作りです。支え合い・助け合いを広め、笑顔の人口を増やしましょう！！



みんなが気軽に集まれるサロンを増やしたいな。

見守り体制があれば、安心して暮らせるな。

みんなと一緒に体を動かしたり、脳トレしたりして楽しみたいな。

などなど・・・

みんなで考えて、みんなで活動して、みんなで参加して、元気な人は元気なまま、支援が必要な人は安心して暮らしていける地域を作るのがささえ愛まちづくり（生活支援体制整備事業）となります。

平成29年4月スタート

<これまでの活動>

高齢者でも気軽にできる体操がほしいという声があったので、市立病院の理学療法士さんと地域おこし協力隊さんとのコラボで地域体操(ささえ愛体操)を作成。
普及活動中。DVDあります。

各市民センター無料開放日や町内会のサロン、各種の集まりなどにお邪魔して、事業の説明と困りごとなどの声を聞かせてもらう。

地域を回っていると、実はいろいろある商店などのサービス情報が十分に伝わっていないことに気づき、便利情報をまとめ作成中。



アンケート結果を集計して、地域の課題が見えてくる。サービスにつなげていけるようにする協議体(話し合う場)を作るために、地域で活動しているメンバーを集め、勉強会を重ねている。

要望などの声を把握するために、65歳以上の方を対象にアンケート調査票を作り、民生児童委員や各団体の皆様にも協力を得て調査をする。協力先(介護事業所、市民センター、老人クラブ、ボランティア団体、町内会など)



みかさ みかさ
盆踊り(^_^)

ささえ愛体操

これから・・・

- ・町内会、老人クラブなどで地域作りを考える話し合いを重ねる。
- ・協議体(話し合いの場)を作る。
- ・サポートしてくれる人を増やすために、養成講座を開く。

今後さらに、ネットワークを広げ、地域の皆さんと一緒に考え、活動につなげていきたいと思えます。